

# Accompañamiento del baile

片桐勝彦のバイレフラメンコ

texto por Katsuhiko Katagiri

## VOL.27 Villancicos

～はじめに～ 昨年の7月から順を追って2拍子系の曲種を取り上げてきましたが、今月はクリスマスなのでリズムの垣根を越えてビジャンシーコ(クリスマスソング)を何曲か紹介します。クリスマス会などで是非歌ってみてください。

### ◆スペインのクリスマス◆

お祭りの多いヨーロッパの中でも、敬虔なカトリック教国のスペインにとって、12月のクリスマス(Nochebuena)は特別です。クリスマスが近づくと、スペインではクリスマスツリーの代わりにベレンと呼ばれる箱庭のような飾りが街中に並べられます。ベレンにはキリスト生誕にちなんだ馬小屋や聖母マリアさま、さらには東方の三賢人などの人形が飾られます。

スペインでは、クリスマスイブ(Nochebuena)は家族で過ごし、翌25日に教会にミサに出向くのが習わしです。私がマドリードに住んだ初めてのクリスマスイブは地図を見て大きめの教会に向かったところ、間違えて墓地に行ってしまい、その日は地下鉄もバスもすべて休みになってしまって、暗い夜道を歩いて帰った経験があります。

スペインの長いクリスマスは、年明け(Año Nuevo)の主催公現の祝日である1月6日(Día de los Reyes Magos)まで続きます。1月6日に東方の三賢人がラクダに乗ってベツレヘムまでイエスに贈り物を届けたことから、スペインではその前日1月5日に子供たちがプレゼントをもらう慣習が主流になりました。



ベレン(belén)  
キリスト降誕の場面を表現した人形

### ◆Villancicos◆

スペインでクリスマスの時期に歌われる歌がビジャンシーコと呼ばれるクリスマスソングです。ビジャンシーコは9世紀にコルドバ県のカブラ村で生まれたとも言われていますが、まだイスラムの統治時代だったので、一般的ではなかったと考えられます。その後15世紀頃に歌われ始めて、17世紀にはスペイン各地でビジャンシーコは歌われるようになりました。ビジャンシーコとは、villano(村人)の歌という意味からきていて、その内容はキリストの生誕を祝う宗教的なものその他、家族や自然への大切な思いや苦悩など、幅広いタイプのものがあります。曲調は一般的に明るく分かりやすいリフレイン

音源は片桐勝彦HPで聴けます！

URL <http://www.toshima.ne.jp/~kata/katsu>  
同内容のバルマクラス、スタジオロメロで開催中。  
12月6、13日、1月10、24日、20:40～終電ぐらいまで



#### 《著者プロフィール》

日本を代表するフラメンコギタリスト。幼少の頃よりヴァイオリンを始め、その後ギターを独習。A-JARIやチリクマルカ等のグループ活動を経て、明治大学在学中にフラメンコギターを始める。'98年から長期渡西、マドリードのタブラオ“カサ・バタス”やセビージャのラジオ番組などに出演。帰国後はカニサレスとの共演やNHK「音楽のある街で」出演。主な参加CD・DVD：風回廊(渡辺えり)、天国を見た男(沢田研二)、Boy(coba)他。Estudio ROMERO主宰。

がつくパターンが多いので、皆で合唱することが出来ます。リズムはタンゴやタンギージョなどの2拍子の他、3拍子やブレリアなどもあって、屋内でも街中でもどこでも歌われます。人々はビジャンシーコを歌ってクリスマスを祝い、家族や隣人との絆を深めます。

#### Villancicos de Gloria

カルロス・サウラの映画『Flamenco』で焚き火を囲んでマカニータとヘレスの人たちが皆でパルマや打楽器を打ちながら、ギター伴奏で歌っている曲です。聖ヨセフと聖母マリアが宿を探す際に断られる様子や、イエス・キリストの誕生の物語を歌っています。

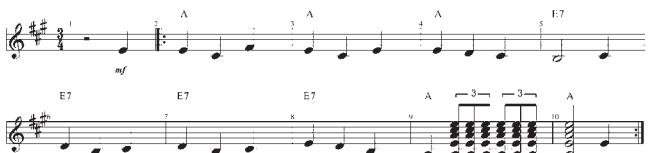
Los caminos se hicieron, con agua, viento y frío caminaba un anciano muy triste y afligido, la gloria y a su bendita madre Victoria gloria al recién nacido, gloria. El Niño Gloria(1893-1954)、Tomasa La Macanita(1968-)、Manuel Lombo(1979-)	道は作られた 水と風と寒さとともに 老人が歩いた 非常な悲しみと苦しみを持って。 栄光を そして聖母マリアに勝利を イエス・キリストに、栄光を。
--	--



#### Tin tin Catalina

スペインの小学校でも習う可愛らしい歌です。CatalinaもConcepción(愛称はConcha、Chonchiなど)も女子の洗礼名です。

Tin, tin, Catalina, tin tin, Concepción, a la puerta llama el viejo cagón	リンリンカタリーナ、 リンリンコンセプシオン ドアで呼んでいる くそおじさん リンリン…鈴の音
---	---



## Campana sobre campana

スペイン民謡として知られるこの曲は、メキシコなど中南米諸国でも有名です。

Campana sobre campana,  
y sobre campana una,  
asómate a la ventana,  
verás al Niño en la cuna.  
Belén, campanas de Belén,  
que los ángeles tocan  
¿qué nueva me traéis?

たくさんの鐘の音  
鐘がまた一回鳴った  
窓から覗いてみると  
搖りかごに赤ちゃんが見えるよ  
ベツレヘム、ベツレヘムの鐘  
天使たちが奏でる  
何を私にもたらしてくれるのかな?



## La Virgen va caminando

La Virgen va caminando,  
va caminando solita  
y no lleva más compañía  
que el Niño en la barriguita.  
Alegria, alegría, alegría,  
alegría, alegría, y placer  
que ha parido la Virgen María  
en el portal de Belén,  
Pericón de Cádiz(1901-1980)、Manolo Vargas(1907-1979)

聖母さまが歩いて行く  
一人で歩いて行く  
お伴なしで、  
連れはお腹の中の子供だけ  
嬉しい、嬉しい、嬉しい  
嬉しい、嬉しい、そして楽しいな  
聖母マリアさまがご出産  
ベツレヘムの小屋の中で



## ◆Zambombas◆

先述のビジャンシーコは、パルマやギターの他、パンデレタ(タンバリン)やサンボンバといったクリスマスならではの楽器も伴奏に加わることが多いです。サンボンバ(zambomba)とは、底を抜いた土の壺に革や布を張って、その中心に通した竹や葦などの棒で擦って音を出す楽器のことをさします。壺以外にも陶器やカンや瓶、さらには紙など何でも使われますが、ものによっては低いベースのような音色になったり人のため息のような音になったりもします。この楽器はスペインの他、南米でも使われています。そしてこのサンボンバは楽器の意味だけでなく、ヘレスでビジャンシーコを歌う集いそのものの名前にもなりました。最近では、セビージャなどでもこの言葉が使われ出しています。元来ヘレ

スで11月の終わり頃からクリスマスイブにかけて、家族や近所の人たちが焚き火を囲んでペーニャなどでサンボンバをすることが多かったのですが、今では舞台で披露されることも多く、観客も一緒になって歌ったり踊ったりしながらサンボンバを楽しんでいます。また、ヘレスのサンボンバでは、しばしばフラメンコの踊りが入ることもあります。サンボンバは皆で一緒に合唱するのが基本なので、たくさん知っているとさらに楽しめます。



## ◆Campanilleros◆

ビジャンシーコの一つであるカンパニジェーロスは、マヌエル・トーレが20世紀前半にフラメンコ化して出来ました。紙面の関係でスペイン語の歌詞だけですが、ラ・ニーニャ・デ・エプロのものと二曲紹介しておきます。

## A la puerta de un rico avariento

A la puerta de un rico avariento  
llegó Jesucristo y limosna pidió  
y en lugar de darle la limosna  
los perros que había se los achauó.  
y Dios permitió  
que los perros al momento rabiaran  
y el rico avariento pobre se queó.  
Manuel Torre(1878-1933)、Juan Varea(1908-1985)、José Mercé(1955- )

## En los pueblos de mi Andalucía

En los pueblos de mi Andalucía,  
los campanilleros por la madrugá,  
me despiertan con sus campanillas,  
y con las guitarras me hacen llorar,  
y empiezo a cantar,  
y al sentirme todos los pajarillos,  
cantan en las ramas y se hechan a volar.  
La Niña de la Puebla (1909-1999)

来年、また2月号から、引き続きよろしくお願いします。